

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 黎明の郷

令和4年度 社会福祉法人黎明の郷 法人本部 事業報告

1 基本方針

当法人では、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（障害者総合支援法）に基づき、障害者に対し、生活の場、就労やそのための訓練を行う場を提供するとともに、適正な法人運営に努めた。

障害福祉サービス事業所「トライ工房」及び地域活動支援センター「ひまわり」では、障害者が自立し、社会復帰を行うにあたり、家族の事情や病気の治療などから、生活する場がなかったり、一人で生活したり就労することができない人のために、本人や家族からの相談を受けるとともに、利用者に対し必要な指導や訓練を行い、日常生活及び社会生活を総合的に支援できるよう障害者福祉の増進を図った。

また、世界的に新型コロナウイルスが蔓延するなか、当法人においては、感染予防対策を徹底することにより、利用者などの関係者から感染者が生じることがなかった。

2 事業内容

- (1) 障害福祉サービス事業所「トライ工房」
 - ・就労継続支援B型事業所 … 定員20人（令和3年7月より変更）
- (2) 地域活動支援センター「ひまわり」

3 事業運営

- (1) 理事会、評議員会及び監査会等の開催

① 理事会の開催状況

開催日	出席者 ／定数	議 題
R4. 6. 6	6／6	<議案> 議案第1号 令和3年度社会福祉法人黎明の郷 事業報告について 議案第2号 令和3年度社会福祉法人黎明の郷 収支決算について 議案第3号 社会福祉法人黎明の郷 令和4年度定時評議員会の日時及び場所等について <報告> 報告第1号 専決処分事項の報告について 報告第2号 理事長の職務の執行及び日常業務の報告について <その他> 今後の主な日程について
R5. 2. 24 (決議日)	6／6 (書面)	※決議の省略（書面決議） <議案> 議案第4号 社会福祉法人黎明の郷 評議員候補者の推薦について

開催日	出席者 ／定数	議 題
R5. 3. 20	5／6	<議案> 議案第5号 社会福祉法人黎明の郷 職員給与規程の一部改正について 議案第6号 障害福祉サービス事業所トライ工房就労支援B型事業管理運営規程の一部改正について 議案第7号 地域活動支援センターひまわり管理運営規程(地域活動支援センター事業)の一部改正について 議案第8号 地域活動支援センターひまわり管理運営規程(指定一般相談支援事業)の一部改正について 議案第9号 地域活動支援センターひまわり管理運営規程(指定特定相談支援事業)の一部改正について 議案第10号 社会福祉法人黎明の郷 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 議案第11号 令和4年度社会福祉法人黎明の郷 収入支出補正予算(第1号)について 議案第12号 令和5年度社会福祉法人黎明の郷事業計画について 議案第13号 社会福祉法人黎明の郷固定資産の取得及び施設整備事業計画について 議案第14号 令和5年度社会福祉法人黎明の郷収入支出予算について <報告> 報告第3号 理事長の職務の執行及び日常業務の報告について <その他> その他

② 評議員会の開催状況

開催日	出席者 ／定数	議 題
R4. 6. 27	6／7	<議案> 議案第1号 令和3年度社会福祉法人黎明の郷収支決算について 報告第1号 令和3年度社会福祉法人黎明の郷事業報告について <その他> その他

③ 監査会の開催状況

- ・開催日 令和4年5月26日
- ・出席者 川越監事、稲原監事
- ・監査内容 令和3年度分収支決算及び事業報告等について

④ 評議員選任・解任委員会の開催状況

- ・開催日 令和5年3月20日
- ・出席者 間ヶ数委員長、稲原委員
- ・協議内容 社会福祉法人黎明の郷 評議員の選任について

(2) 職員の処遇

① 健康管理

定期検診を実施することにより、職員全員の健康管理に努めた。

- ・期 間 令和4年9月～11月
- ・内 容 視力検査、聴力検査、X線、血液検査、尿検査、心電図、女性検診、男性検診、問診

② 資質向上

講習会・研修会等への参加についての便宜を図り、法人として職員の資質向上に積極的に努めた。

4 れいめいフェスタの開催

「れいめいフェスタ」に代わる新たな交流事業については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、実施を見送った。

5 法人の業務及び財務情報の開示

地域交流室に法人の業務及び財務に関する書類の閲覧場所を設置し、法人としての重要な情報を市民に開示した。

6 非常災害対策

非常災害対策として、火災発生による災害や地震災害を想定し、施設の利用者と職員による避難訓練を実施した。

- ・訓練の内容…… 避難経路、避難場所、災害通報の手順等の周知徹底を図り、火災を未然に防止するための初期消化と人命と安全確保を最優先とする避難訓練を行った。
- ・実施時期…… 7月7日、12月20日
- ・避難場所…… 法人施設の前庭（施設内から避難）

7 寄附の受け入れ

(1) 寄附金

月 日	寄附者名	寄附金額
R4. 12. 12	小矢部市善意銀行(小矢部市連合婦人会の預託)	5,000 円

(2) 寄附物品

月 日	寄附者名	寄附物品名
R4. 12. 22	小矢部市連合婦人会	日用品等
R5. 1. 23	富山県「北日本放送」社会福祉事業基金	加湿空気清浄機

令和4年度 障害福祉サービス事業所「トライ工房」 事業報告

1 基本方針

通所利用を希望する障害者に、作業指導・生活指導等を行いながら、「生活の自立支援」、「就労支援」等の供与を図り、地域において健康で文化的な生活を営むことができるよう支援することを目的とした。

2 職員の職種、数及び職務の内容

職 名	人 数	職 務 内 容
施 設 長	1	・ 障害福祉サービス事業所「トライ工房」業務の統括（ひまわりと兼務）
サービス管理責任者	1	・ 関係機関とのサービス提供に関する連絡調整等 ・ サービス提供に関する利用者からの相談業務等
目標工賃達成指導員	1	・ 工賃向上のための各種取組み
職業指導員	2	・ 利用者が自立できるよう必要な就職上の技術指導等 ・ 利用者の心身状態を配慮した就職意欲向上支援等
生活支援員	1	・ 利用者からの日常生活面等の相談、メンタルケア業務等 ・ 利用者の心身状況を配慮した生活意欲、社会参加向上支援等
嘱 託 医	2（2）	・ 利用者の心身状況、支援対策等
合 計	8（臨職等2を含む）	

3 事業運営

(1)各種会議

会議名	職 員	実施回数	内 容
ミーティング	法人職員	毎朝	・ 一日の予定（相談・訪問・行事など）の確認に関すること ・ 利用者の処遇、職員間の情報共有等に関すること
職員会議	トライ工房職員	毎夕	・ 利用者の支援状況、支援対策に関すること
運営会議	トライ工房職員	随時	・ トライ工房の年間行事、施設修繕等に関すること
ケア会議	関係職員	10回	・ 施設利用者の事例検討に関すること ・ 援助・支援計画に関すること
工賃向上会議	トライ工房職員	随時	・ 受託・自主製品作製、販売に関すること
利用判定会議	関係職員	3回	・ 利用希望者の利用の可否、支援計画等に関すること

作業工賃評価会議	関係職員	4 回	・利用者の強みや課題を整理し、職員間で共有 ・工賃計算をする基になる各評価項目について検討
症例検討	嘱託医、関係職員	4 回	・利用者の心身状況、支援対策等について検討

(2) 職員研修等

月 日	研修名	参加職種	場 所
R 4. 4 ~ R 5. 3	小矢部市障害支援区分判定審査会	サービス管理責任者	小矢部市総合保健福祉センター
R 4. 4 ~ R 5. 3	砺波地域障害者自立支援協議会就労支援部会	目標工賃達成指導員	砺波市役所等
R 4. 6. 14	小矢部市ボランティアセンター協議会	目標工賃達成指導員	小矢部市総合保健福祉センター
R 4. 6. 23	精神医療保健福祉担当者会議メンタルヘルスサポーター連絡会	目標工賃達成指導員	厚生センター小矢部支所
R 4. 7. 19	砺波圏域障害者就労支援ネットワーク会議	目標工賃達成指導員	砺波総合庁舎
R 4. 8. 3	サービス管理責任者更新研修	サービス管理責任者	サンフォルテ
R 4. 11. 15	安全運転管理者講習	サービス管理責任者	クロスランドおやべ
R 4. 11. 29	就労支援従事者研修会	目標工賃達成指導員	砺波市役所
R 4. 12. 5	砺波圏域就労系福祉サービス事業所研修会	サービス管理責任者	砺波体育センター
R 4. 12. 13	社会福祉施設等新型コロナウイルス感染症対策研修会	サービス事業所	小矢部市総合保健福祉センター
R 5. 2. 17	すこやか健診こころの健康相談	目標工賃達成指導員	小矢部市総合保健福祉センター

4 利用者の処遇

(1) 利用定員

就労継続支援 B 型事業所・・・20 人

(2) 受入れ手順

申し込み → 見学 → 体験実習（5 日間） → 認定調査 → 支給決定 → 通所・利用契約

(3) 利用料その他の費用

- ・支給決定した市町村が定めた利用者負担金を徴収した。
- ・5 日間の体験利用中は、400 円/1 日の利用料を徴収した。

(4) 送 迎

自主通所が困難な方のために、送迎を実施した。ただし、利用料は無料とした。

(5) 食事（昼食）

昼食の弁当を持参しない方は宅配弁当を利用した。急速冷凍された弁当を弁当スチーマーにて解凍し、利用者に提供した。

(6) 健康管理

利用者のケース記録等からその状況を把握し、主治医、ケースワーカーと情報交換を行うことにより、その後の援助と対応に努めた。

(7) 衛生管理等

利用者が使用する施設の衛生管理に努めるとともに、授産事業を行う作業室の安全管理に努めた。

(8) 新型コロナウイルス感染防止対策

毎日、検温を行い利用者の健康状態を確認するとともに、定期的な換気や消毒等を行い感染防止に努めた。

またコロナワクチンの接種を希望する利用者に対して、申し込みや予診票の記入等の援助、及び接種会場までの送迎等を行った。

(9) 年間行事

R4. 4. 11	お花見	社会見学、レクリエーション	朝日山公園、ひみ番屋街	16 人
R4. 10. 22	社会福祉大会	コーヒー販売	クロスランドおやべ	2 名
R4. 11. 2	秋の外出	社会見学、交流会	かほくイオン、内灘サンセットパーク	10 名
R5. 1. 4	新年会	交流会、レクリエーション	トライ工房	12 名

5 就労継続支援B型事業

(1) 作業・就労指導

利用者のニーズに応じて選択肢を広げ、通所による生産活動やその他の機会の提供を通じて多様なサービスを提供し、就労に必要な知識及び能力の向上や生活面での相談支援を効果的に実施しながら、就労継続のための支援を行った。

具体的な指導内容（就労継続支援B型事業所）

作 業	内 容
ダンボール加工	・組み立て、のりづけ加工、箱折り
衣類の値付け、梱包	・衣類等の値付け、シール貼り、梱包
シール貼り	・靴箱にシールを貼る
箱詰め作業	・贈答品等の箱詰め
プラスチック加工	・組立て、溶着
電子部品加工	・防災無線機の組み立て
自主製品作製・販売	・コーヒー販売、アクリルたわし、竹炭加工等
施設外就労	・企業実習（延べ 0 名）

(2) 日 課

通所日……月～金曜日（土、日、祝日は休館）

9 : 2 0 体操・ミーティング
9 : 3 0 作業訓練
1 0 : 4 5 休憩
1 1 : 0 0 作業訓練
1 2 : 0 0 昼食・休憩
1 3 : 0 0 作業訓練
1 4 : 3 0 休憩
1 4 : 4 5 作業訓練
1 6 : 0 0 片付け・清掃
1 6 : 1 0 帰宅

(3) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数 (人)	339	300	349	305	316	338	337	333	283	251	298	347	3,796
開所日数 (日)	20	19	22	20	20	20	20	20	18	17	19	22	237
平均利用 者数(人)	17.0	15.8	15.9	15.3	15.8	16.9	16.9	16.7	15.7	14.8	15.7	15.8	16.0

(4) 工賃の支払い

通所者の作業時間、作業能力に応じ、毎月工賃を支払った。

平均利用者工賃……… 2 4 1 円/時間額 1 5, 0 4 1 円/月額

6 虐待防止委員会の設置

虐待の未然防止や虐待事案発生時の検証や再発防止策の検討等を行う虐待防止委員会を設置した。令和5年2月22日に法人内研修を行い、障害者虐待の問題について理解を深めた。

7 小矢部市障害者地域活動支援事業

小矢部市からの受託事業として、ボランティア活動支援事業を実施した。

実施日	実施内容	参加者数
R4. 8. 24	フラワーアレンジメント	15 人
R4. 12. 7	ハーモニカアンサンブル	16 人

8 砺波地域障害者自立支援協議会 就労支援部会への参画

砺波地域（小矢部市、砺波市、南砺市）における障害福祉のシステムづくりを行う砺波地域障害者自立支援協議会の就労支援部会に参画し、圏域における就労課題について協議した。

9 家族との連携

入所・退所時には家族にも来所してもらい、家庭での状況の把握や今後の援助と連携について話し合いの機会を持った。また、経済的・社会的援助が必要な場合は、適宜連絡を取り、密接な情報交換を行った。

10 医療機関との連携

利用者の心身不良時の対応について、医療機関からの電話連絡等により随時助言をいただいた。

11 嘱託医との連携

2名の嘱託医に依頼し、利用者の援助計画及びその援助の状況について助言をいただくとともに、職員の利用者への対応等について相談を行った。

12 地域との連携

(1) 地域交流

綾子ふれあい朝市 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 協力事業

自助グループ「赤とんぼ」

期 日……毎月第1土曜日 10:00～12:00

場 所……地域活動支援センターひまわり 地域交流室

内 容……清掃活動、勉強会、社会見学ツアー、機関誌作成など

13 ボランティア受け入れ体制

ボランティアについては、トライ工房のイベントや行事に積極的に受け入れるとともに、ボランティア活動を通して、障害者やその家族との交流を図りながら、よき理解者、支援者になっていただいた。

14 内部点検の実施状況について

定期的に施設内と周辺の点検を行い、施設を安全に利用できるように心掛けた。

令和4年度 地域活動支援センター「ひまわり」事業報告

1 基本方針

障害者への創作的活動・生産活動の機会の提供や、地域社会との交流機会を図りながら、日常生活及び社会生活の向上につながるよう総合的に支援した。また、障害者からの相談に応じ、行政、保健医療サービス、障害福祉サービス事業を提供する関係機関と連携しながら、本人の意向、障害の特性などに応じ必要な援助を行い、障害者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように支援することを目的とした。

2 職員の職種、人数及び職務内容

職 名	人 数	職 務 内 容
施 設 長	1	地域活動支援センター「ひまわり」業務の統括（トライ工房と兼務）
相 談 支 援 専 門 員 (精神保健福祉士、 社会福祉士)	2	利用者の経済的、心理的及び社会的問題・生活問題等の相談受付及び解決援助業務
指 導 員	2	利用者の要望に応じた生活指導や、自立した社会参加を営むことができるよう必要な支援業務
合 計	5	

3 各種会議・研修

(1) 運営・利用者処遇に関する会議

会議名	職 員	実施日	内 容
ミーティング	法人職員	毎日	一日の予定（相談・訪問・研修・行事等）の確認及び利用者の状況確認をした。
法人職員会議	法人職員	3 回	行事や災害対策等を検討した。
運営会議	ひまわり職員	2 回	利用者の生活支援状況の確認及び地域交流行事等を検討した。
登録者会議	ひまわり職員	5 回	登録を希望する方の状況を把握し、必要に応じてカンファレンスを実施し支援方法を検討した。
ケースカンファレンス	ひまわり職員	1 回	利用者の援助に必要な情報交換及び自立に向けた援助方法を検討した。
地域交流会議	法人職員、地域住民、 関係機関等	2 回	必要に応じて実行委員会等を開催し、地域交流の行事を企画運営した。
障害福祉サービス ケア会議	ひまわり職員、保健師、 病院ワーカー、ホーム ヘルパー等	50 回	障害福祉サービスを利用する方にサービス等利用計画作成のための担当者会議を行った。
備品設備営繕工事 会議	ひまわり職員	2 回	購入物品の選出と決定や施設建物の状況を確認し修理を検討した。

(2) 職員研修

月 日	研修会名	場 所	参加職種
R4. 6. 4	富山県相談支援専門員総会記念講演	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R4. 6. 8	令和４年度 障害理解を深める基礎研修 （身体障害について知的障害について）	ZOOM（相談室）	相談員
R4. 6. 22	令和４年度 障害理解を深める基礎研修 （精神障害について発達障害について）	ZOOM（相談室）	相談員
R4. 7. 5	令和４年度定期総会及び研修会	社会福祉法人 ゆりの木の里	相談員
R4. 7. 12	令和４年度精神保健福祉新任者研修会	ZOOM（自宅）	相談員
R4. 7. 30	令和４年度 ひきこもり研修会子どもの心の健康センター	ZOOM（自宅）	相談支援専門員
R4. 9. 9	健康づくりセンター	WEB 参加	相談員
R4. 10. 18	相談支援事業所連絡会 介護保険制度を理解する研修会	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R4. 10. 13～ R4. 10. 14	甲乙同時防火管理講習	高岡市生涯学習センター（ウイングウイング高岡）	相談員
R4. 10. 20	居宅介護支援事業所研修会・連絡調整会	小矢部市総合保健福祉センター	相談員
R4. 11. 11	身元保証事業に関する研修会	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R4. 11. 17	令和４年度小矢部心を考える会研修会	小矢部市総合保健福祉センター	相談員
R4. 11. 30	令和４年度認定調査員フォローアップ研修	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R4. 12. 15	３市合同施設ボランティア受け入れ担当職員研修会	ZOOM（相談室）	相談員
R5. 1. 11	BCP 策定等支援研修	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R5. 1. 13	令和４年度富山県医療保護観察制度関連職種研修会	富山県総合情報センター	相談員
R5. 1. 19	令和４年度障害者福祉施設従事者等のための虐待防止に関する研修会	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R5. 1. 19	居宅介護支援事業所等研修会	小矢部市総合保健福祉センター	相談支援専門員
R5. 2. 8	令和４年度家族の集い	砺波厚生センター小矢部支所	相談員
R5. 2. 22	令和４年度難病患者支援者研修会	ZOOM（相談室）	相談員
R5. 3. 16	令和４年度福祉サービス苦情解決研修会	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R5. 3. 17	令和４年度富山県障害者虐待防止・権利擁護研修会	動画視聴	相談員
R5. 3. 31	障害支援区分に係る研修	動画視聴	相談員

4 利用者

(1) 対象者

地域で生活をしているが、障害があるため日常生活を営むのに支援を要する人を対象とした。

(2) 登 録

個人に対する細やかでかつ継続的なサポートを提供するため、利用者の登録を行った。登録手続きは、利用希望者が「地域活動支援センター利用申込書」に「主治医の意見書」を添えてひまわりへ提出し、「地域活動支援センター利用契約書」を締結することで完了する。

市別登録者数

市名	小矢部市	高岡市	砺波市	南砺市	その他	合計
人数	105 人	11 人	14 人	13 人	3 人	146 人 (R3 年度 148 人)

男性登録者数 86 人 女性登録者数 60 人

延利用者

内 容	来 所	電 話	訪 問	合 計
人 数	3, 867 人	1, 521 人	424 人	5, 812 人 (R3 年度 5, 921 人)

市別利用者実人数（登録外を含む）

市名等	小矢部市	高岡市	砺波市	南砺市	その他	合計
人数	147 人	17 人	13 人	10 人	4 人	191 人 (R3 年度 152 人)

(3) 開所日

火曜日～土曜日（月曜日、日曜日及び祝日は休館）

(4) 開所時間

10：00～17：00

(5) 利用料

無料

(6) 記 録

① 登録者個票

ひまわり登録者の個票を作成し、利用開始日や利用しているサービス、その援助内容や援助計画について記録した。

② 個別記録

登録者及び訪問者等それぞれの個別記録を作成し、相談や訪問などの援助経過の記録、支援活動参加状況などについて記録した。

③ センター業務日誌

利用者及び来所者の把握をするとともに、その日の活動や施設内での出来事について記録した。

④ 相談支援業務日誌

利用者からの一般相談及び計画相談についての方法、経路及び支援内容を記録した。

(7) ニーズの把握

登録者の生活及び病気等に関するニーズを把握するため個別面接を実施し、関係機関の理解や対応を促すとともに、連携方法等を検討した。

(8) 利用状況の把握

1 年を通して利用された人数や利用されたサービス、年齢及び居住地などを把握することで利用者の増加を図り、利用しやすいよう努めた。

5 業 務

(1) 指定特定相談支援業務

指定特定相談支援事業所として障害者からの相談を受け、障害支援区分認定調査とサ
ビス等利用計画の策定及びモニタリング票の作成等を行い、小矢部市からの受託事業とし
て実施した。

① 相 談

生活問題や就労問題、住宅問題、あるいは家族調整を含む対人関係の問題などに対して
来所や電話により相談に応じた。必要時には、医療機関をはじめ、厚生センター、市及び
関係機関と連携を取り、ケアカンファレンス会議を開催した。相談の受付は施設の開所時間
内とするが、日中の相談や来所が困難な人のために、夜間電話相談日を設けて対応した。

年間相談件数（相談内容別）

（単位：件）

相 談 内 容	件 数	相 談 内 容	件 数
福祉サービスの利用支援	382	家計・経済支援	45
障害や病状の理解	124	生活支援	23
健康・医療支援	237	就労支援	124
不安解消・情緒安定支援	230	社会参加・余暇活動支援	6
保育・教育支援	2	権利擁護支援	1
家族関係・人間関係支援	97	その他	132

年間相談件数（相談方法別）

（単位：件）

	電 話 (うち夜間電話)	来 所	訪 問	同 行	個別支援 会議	関係機関	その他	合 計
件数	412 (66)	319	178	15	28	451	0	1,403 (R3年度 1,479)

計画相談件数

（単位：件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	26	26	31	29	39	33	26	29	26	27	31	27	350 (R3年度 365)

② 訪 問

病院、厚生センター、小矢部市との連携により、ソーシャルワーカー、保健師等からの
紹介や情報提供あるいは利用者の依頼により訪問を行った。障害福祉サービス利用者等
については個別計画に基づき訪問するとともに、サービス等利用計画作成依頼者については
個別計画に基づき訪問してモニタリング票を作成した。

③ 面 接

登録者に対しては定期的又は随時に面接をし、現在の状況の確認をしながら、話し合い
の場を提供した。また、未登録者に対しても要望に応じて面接をし、各人の求めるサー
ビス内容の聞き取りや困りごとの解決に努めるとともに、登録をすすめるなど継続的支援
を行った。

④ ケアマネジメント

障害者の希望に応じたサービスを総合的に提供できるようにすることを目的として、関
係機関と連携したケア会議のもと、ケアマネジメントを行った。

⑤ 認定調査・概況調査

障害支援区分を判定するための認定調査及び認定調査対象者の課題や問題等の調査を
行った。（障害支援区分認定調査 21 回、概況調査 350 回）

(2) 指定一般相談支援業務

富山県から指定一般相談支援事業者（地域移行・定着担当）の指定を受け、相談支援専門員・地域移行推進員が退院に向けた相談・助言、地域移行に向けての計画書の作成、同行支援、関係機関との連絡・調整など地域における生活に移行するための支援体制を整えた。また、グループホームや自宅等に退院し、就労継続支援事業所や地域活動支援センターを利用しながら地域生活を継続している障害者に対し、退院に向けてのケア会議を計5回行った。

(3) 日中の活動の場の提供

フリースペース事業

利用時間……ひまわりの開所時間と同様とした。

利用者……ひまわりの登録者を原則とし、未登録者の利用も可能とした。

利用料……無料とし、個人的に使うものは実費を徴収した。

その他……インターネット利用、図書貸し出し、カラオケサービス
など

(4) 交流活動

① 利用者交流

※ 自助グループ 赤とんぼ

- ・日 時…基本毎月第1土曜日 10:00～11:30
- ・場 所…地域活動支援センターひまわり等
- ・内 容…話し合い、清掃活動、社会見学など事業計画に基づき活動を行った。
- ・参加者…延べ160名（実施回数12回）

② 地域交流

※ 生活講座（ひまわりサロン）

- ・日 時…毎月水曜日 13:30～
- ・場 所…地域活動支援センターひまわり等
- ・内 容…健康ウォーキング、買い物ツアー、卓球等
- ・参加者…延べ464名（実施回数45回）

※ ミニシアター

- ・日 時…毎月第4土曜日 13:30～15:30頃
- ・場 所…地域活動支援センターひまわり地域交流室
- ・内 容…利用者の方の要望や録画を上映した。
- ・参加者…延べ85名（実施回数8回）

※ ひまわり☆COM

- ・日 時…毎月第2土曜日 13:30～14:30頃
- ・場 所…地域活動支援センターひまわり地域交流室等
- ・内 容…防災を学ぼう・ガーデニング・OAスクール等
- ・参加者…延べ156名（実施回数11回）

※ その他行事

- お花見、年末大掃除、新年の抱負を語ろう等
- ・参加者…延べ44名（実施回数4回）

③ カルチャー活動

個人の希望や目的に応じ、フリースペースでの自由な活動の場を提供するとともに、講師を招いて、月1回の華道、自力整体などのカルチャー教室を開催した。

(5) 情報提供業務

① 機関誌の発行・ホームページの更新

ひまわり利用者の融和、親睦及び仲間づくりの手段として機関誌を隔月発行した。行事の感想、利用したサービスへの意見など、種々の声を掲載するとともに、ひまわりの行事報告や活動案内等にも利用した。発送先は、登録者をはじめ、家族、市、厚生センター、医療機関、他施設、法人役員などへ送付した。また、ホームページを更新し、ひまわりの概要・活動紹介、毎月の行事予定や活動報告などの情報をインターネットで提供した。

② 家族支援事業

家族相談会…… 精神障害者及びその家族が安心して地域生活を送るために、本人、家族の相談内容により必要な援助を行う富山県家族相談員を紹介した。

- ・ 日 程……毎月第3火曜日 10:00～11:30
- ・ 相談会回数……11回
- ・ 相談件数…… 8件（来所相談4件、電話相談2件、訪問2件）
- ・ 相談者……家族7件、本人1件、親族0件、関係機関0件

6 小矢部市障害者地域活動支援事業

障害者の社会復帰を促進するために、社会復帰に関する活動内容の情報提供を行い、地域住民の理解と協力を得られるように、小矢部市からの受託事業として活動支援を行った。

- ・ 自助グループ「赤とんぼ」への支援
- ・ 「メルヘン家族会」への支援

7 啓発事業

民生委員児童委員関係者や町内会長、地域生活アドバイザーなどの各種団体に対し、ひまわりのパンフレット・機関誌などを配付し、理解の促進を図った。

8 関係機関との連携

(1) 厚生センター、福祉行政機関、病院等

関係機関と連携し、地域生活への移行及び社会的な自立を促進するとともに、関係機関と連携しながら、地域における支援体制を構築した。

(2) 社会福祉協議会

社会福祉協議会の協力を得て、障害者への理解とボランティアの育成を図った。また、行事開催時にボランティアの参加協力を依頼した。

(3) 公共職業安定所及び障害者職業センター

就労を希望される障害者に対し求職活動を支援するため、公共職業安定所や障害者職業センターとも連携を図った。

(4) 他の障害福祉サービス事業所

県内の障害福祉サービス事業所の利用者がひまわりを利用される際には、支援方法などについてお互いに連絡・相談を行うとともに、行事等開催時にも相互に協力し合った。

9 メルヘン家族会との連携

メルヘン家族会の事務局を担当し、定例会では施設での状況を伝えるとともに、家族会の意見も取り入れながら連携を図った。（定例会、交流会、家族教室など 延べ84名参加）

10 ボランティア受け入れ体制

カルチャー活動の講師や食事会などの行事に、メンタルヘルスサポーターや地域のボランティアの方々を新型コロナウイルス感染症対策しながら受け入れた。
また、ボランティア活動を通して障害者やその家族との交流を図り、よき理解者・支援者になってもらえるよう体制づくりを図った。

11 砺波地域障害者自立支援協議会

砺波圏域の障害者福祉について、ひまわりは就労支援部会、当事者委員会、運営会議、権利擁護虐待防止委員会に所属し、協議会の事務局の運営に携わった。

（就労支援部会 13回 当事者委員会 6回 個別ケア検討会 3回 運営会議等 3回 権利擁護虐待防止委員会 2回 計 27回参加）

12 虐待防止委員会の設置

障害者虐待防止法に基づき、令和4年度より必置となった虐待防止委員会を設置、職員への研修実施と責任者の設置、虐待の未然防止や虐待事案発生時の検証や再発防止策の検討等を行った。（虐待防止委員会 計1回開催）